

# 親子で心地よい汗を流す

幼稚園・保育園運動会



親子競技「レスキュー隊出動」(幼稚園)



騎馬戦(保育園)

明和幼稚園の家族運動会が9月28日に社会体育館で、明和保育園の運動会が10月5日に園庭で行われました。同運動会は、園児の成長ぶりと日ごろの成果を家族に見てもらうと同時に、親子のふれあいを大切にしながらおとと毎年開かれています。

幼稚園では、3歳から5歳児165人と体験入園児、保護者らが、かけっこ、遊戯、親子競技竹馬など11種目。また、保育園では0歳から5歳までの154人と保護者らが遊戯や玉入れ、障害物競走など12種目を行い、親子で心地よい汗を流しました。

両園とも、園児たちが一生懸命走ったり踊る姿に観客席から大きな拍手や声援が贈られていました。

## 心に響く曲の数々を奏う

明中吹奏楽部定期演奏会

10月27日、ふるさと産業文化館を会場に第4回明和中学校吹奏楽部定期演奏会が行われました。「奏イコール歌」をテーマにした今回の演奏会は、吹奏楽を奏う、ミュージカルを奏う、オペラを奏うの3部構成。曲目は西関東吹奏楽コンクールで銀賞を受賞した「雲のコラージュ」を中核に、「わらべ唄」、「ライオンキング」メドレー、歌劇「アイダ」より凱旋行進曲などに響く曲の数々が披露されました。息のあつた素晴らしい演奏に満員の客席からは、惜しみない拍手が贈られました。



練習の成果を披露する明中吹奏楽部

## 学ぶことは良い刺激です

ぐんま県民カレッジ奨励賞受賞



町で最初の奨励賞受賞となった石黒さん

ぐんま県民カレッジで学ぶ石黒千代子さん(新里)は、講座受講で取得した単位(1時間1単位)が100に到達し、同カ

レッジ学長の県知事より10月12日に奨励賞にあたる妙義賞を受賞しました。同カレッジは平成12年に始まった県や市町村、博物館等の連携により生涯学習の場を提供する支援システム。県内4、400人余りが学んでいます。現在石黒さんは、教育委員会の女性ふれあいセミナーなど5講座に参加。「家に閉じこもらずに外へ出て学ぶのは良い刺激になります」と話していました。